

平成 27 年度 エゾシカテレメトリー調査

実施結果

1. 概要

平成 25 年度に 2 頭、平成 26 年度に 10 頭のシカ（メス成獣）に GPS 首輪を装着した。現在、GPS 首輪の脱落および死亡した個体は 5 頭、追跡中の個体は 7 頭である。

2. 平成 25 年度および平成 26 年度の追跡個体の概要

表 1 に達古武地域で GPS 首輪を装着した個体の基本情報を示した。また、図 1 には GPS 首輪を装着した個体の捕獲場所を示した。

表1 GPS首輪を装着した個体の基本情報

事業年度	耳標番号	捕獲方法	捕獲日	追跡状況	春の季節移動		
					移動先	距離	時期
平成25年	1	大型囲い罠	2/11	2014/10/7死亡	定住型	-	-
平成25年	2	大型囲い罠	2/13	2015/2/19首輪脱落	標津町牧草地	75km	4/13
平成26年	3	麻酔銃	12/26	死亡	標茶町牧草地	16km	4/15
平成26年	4	麻酔銃	12/27	2015/8/17首輪脱落	定住型	-	-
平成26年	8	大型囲い罠	2/10	追跡中	阿寒国立公園	49km	4/3
平成26年	9	大型囲い罠	2/10	追跡中	標茶町牧草地	21km	3/29
平成26年	10	大型囲い罠	2/12	追跡中	標茶町牧草地	16km	4/2
平成26年	11	大型囲い罠	2/16	追跡中	中標津町牧草地	57km	4/5
平成26年	12	大型囲い罠	2/16	2015/5/28首輪脱落	別海町牧草地	52km	4/6
平成26年	13	大型囲い罠	2/27	追跡中	釧路湿原内	6km	4/11
平成26年	14	麻酔銃	3/16	追跡中	別海町牧草地	46km	3/29
平成26年	15	麻酔銃	3/17	追跡中	標茶町牧草地	47km	4/9



図 1 達古武地域において GPS 首輪を装着した個体の捕獲場所。耳標番号毎で個体を示した。

3. 全追跡個体の季節移動の概要

- ・ 定住型が 2 個体、季節移動型が 10 個体。
- ・ 夏の期間には釧路湿原内に 3 個体、阿寒国立公園に 1 個体、他地域に 8 個体生息。
- ・ 4 月初旬に季節移動をする個体が多い。
- ・ 季節移動距離は 6～75km。

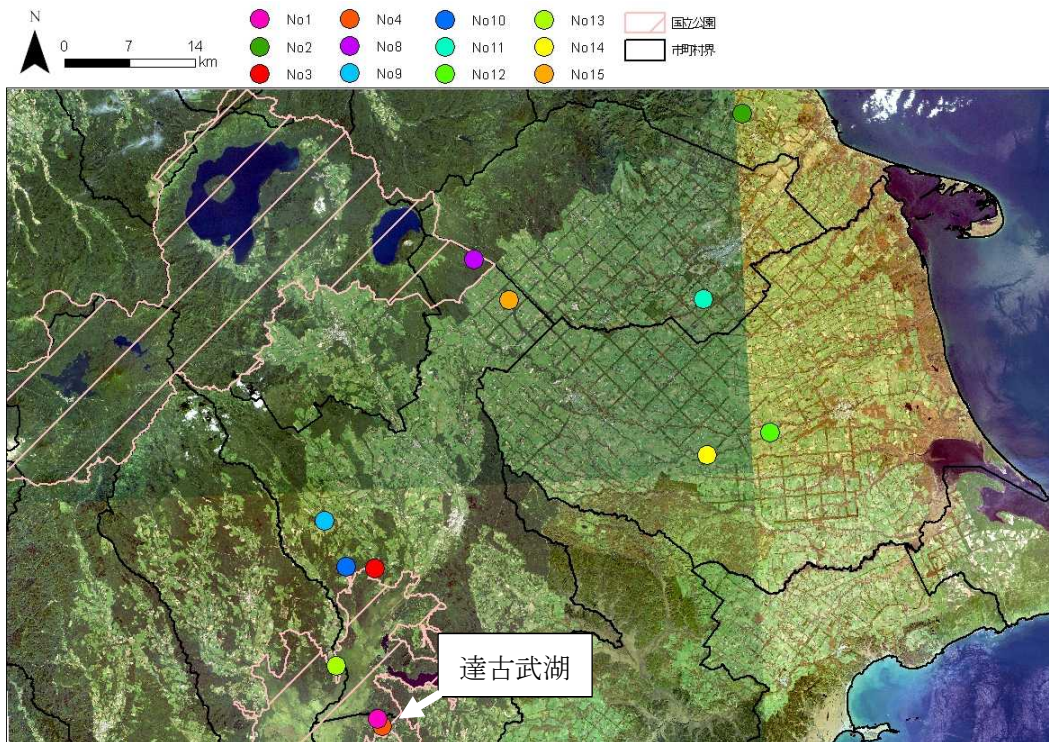


図 2 達古武地域において GPS 首輪を装着した個体の季節移動先。

4. 夏期に釧路湿原内を利用する個体

- ・ 5～8 月は森林地帯と湿原を利用。
- ・ 9 月以降はほぼ湿原のみを利用。

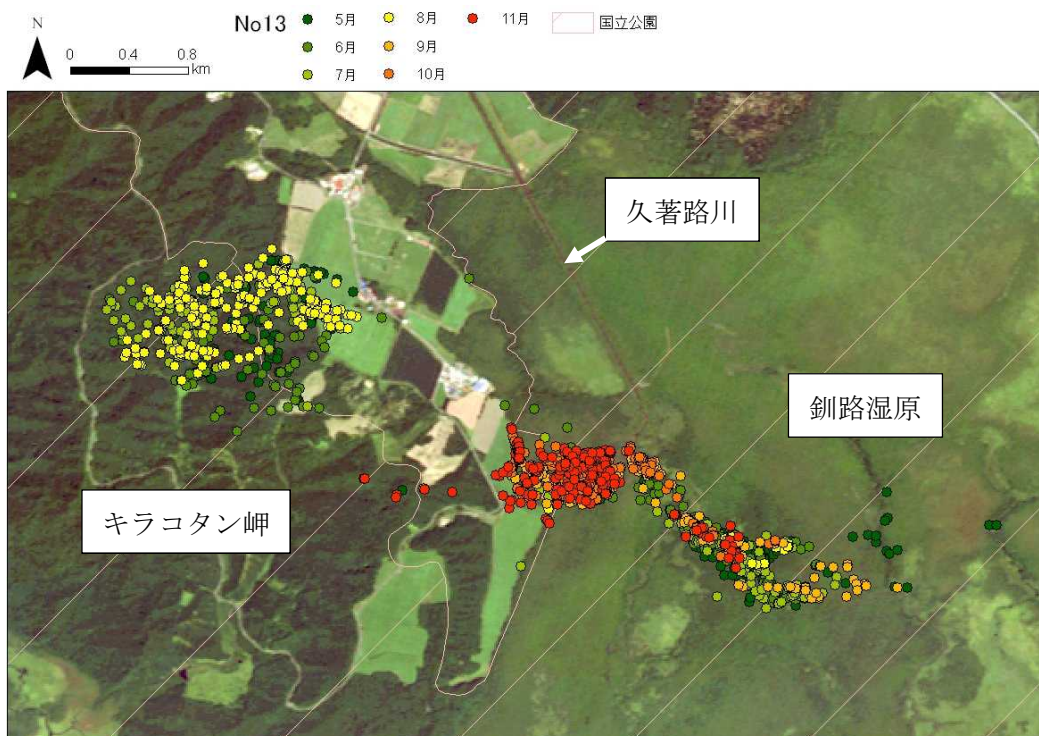


図 3 夏期に釧路湿原内を利用していた個体の月毎の位置。

5. 冬期の生息場所

- ・ 月による生息場所の大きな偏りはない。
- ・ 西の沢から中の沢にかけて密度が高い

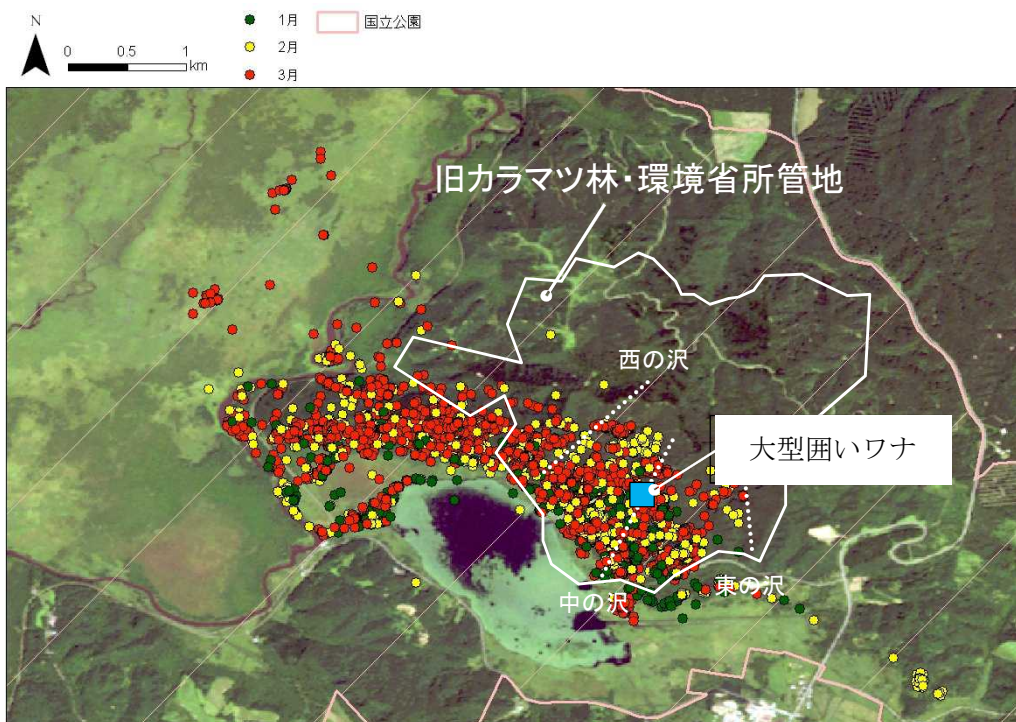


図4 冬期に達古武を利用していた個体の月毎の位置。

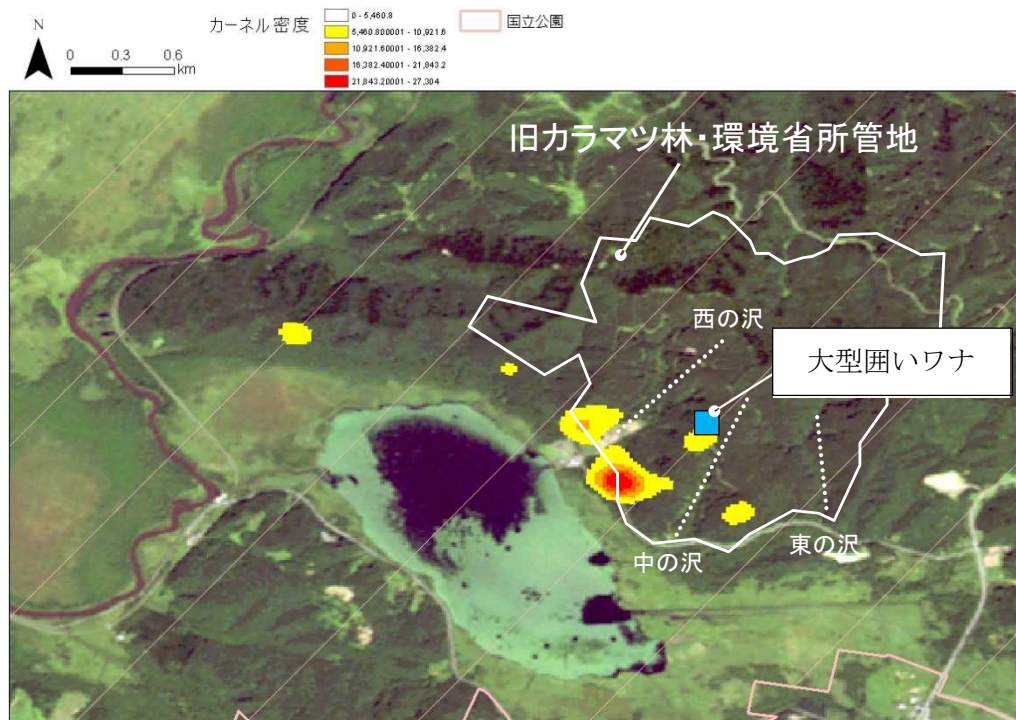


図5 冬期に達古武を利用していた個体の高密度地域。

6. まとめ

- ・ 平成 25～26 年度の業務で達古武地域内のシカ 12 頭に GPS 首輪を装着。
- ・ 定住型は 2 個体、季節移動型は 10 個体。
- ・ 冬期は西の沢から中の沢の範囲で集中的に利用。